

内閣府青年国際交流事業報告書 2020

令和2年度
国際社会青年育成事業
(オンライン交流)
~Glocal Youth Summit~

International Youth Development Exchange Program 2020



内閣府

Cabinet Office, Government of Japan

※ 一部（名簿、写真、挨拶者氏名等）の個人情報については
削除してあります。

目次

序.....	2
第1章 事業概要.....	3
グラビア.....	5
第2章 参加青年レポート	
「国際社会青年育成事業（オンライン交流）～Glocal Youth Summit～」	
欧州地域（エストニア・ドイツ）参加青年レポート.....	8
中南米地域（メキシコ・ドミニカ共和国）参加青年レポート.....	24
第3章 資料	
参加青年名簿.....	41
事業評価アンケート.....	44
研修日程等.....	48

序

内閣府では、日本と諸外国の青年の交流により、青年相互の友好と理解を促進するとともに、青年の国際的視野を広げ、次代を担うにふさわしい国際性を備えた健全な青年を育成することを目的として各種の青年国際交流事業を実施してまいりました。

国際社会青年育成事業は、昭和 34 年(1959 年)及び平成5年(1993 年)の当時の皇太子殿下御成婚記念事業を、平成 31/令和元年(2019 年)のお代替わりを契機に発展させたものです。より現代のグローバル社会に沿った国際的視野を持つ青年の育成を行う事業として、世界各地の課題をテーマに設定し、当該テーマについて日本と諸外国の青年の議論を通じて理解を深めるとともに、現代の複雑化したグローバル社会に沿った国際的視野を持つ青年を育成することを目的にしています。

しかしながら、令和2年度は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、国を越えた交流が困難となり、当初予定していた事業も残念ながら中止となりました。

その一方で、現代はオンラインの活用により遠く離れた国々の青年同士が瞬時につながることができる時代でもあります。こうした技術も活用し、代替的な国際交流の場、そして新しい試みとして国際社会青年育成事業(オンライン交流)～Glocal Youth Summit～を開催することとしました。

本プログラムでは、「Glocal」という、global と local を組み合わせた言葉にふさわしい、これからの新しい時代にリーダーシップを発揮できる青年の育成を図ることを目的に、欧州地域からはエストニア共和国・ドイツ連邦共和国、中南米地域からはドミニカ共和国・メキシコ合衆国からの外国参加青年と日本青年とのオンライン交流を実施いたしました。

さらに、オンライン交流で得られた成果を報告するとともに、これまでの事業参加青年による経験や学びといった自身の成長の共有を行う事業報告会を実施し、より多くの方々に本事業の魅力をお伝えするための広報を行いました。

本プログラムによる交流を通じて、参加者の皆様が交流を深めるとともに、様々なテーマについて大いに議論いただいたことで、参加青年が今後の活動につながる学びを得て、今後の活動において活躍されることを願ってやみません。

また、事業報告会が広く一般の青少年の方々にとって、国際交流への関心を高め、本事業を御理解いただく際の一助となれば幸いです。

本報告書は、今回のオンライン交流で行ったディスカッション等の様々な活動について記録したものです。この報告書を通じ、事業の成果を御理解いただくとともに、今後の一層の御支援をいただければ幸いです。

最後に、本事業の実施にあたり、御協力いただいた関係各位に、心から御礼申し上げます。

令和3年3月
内閣府青年国際交流担当室長
酒田 元洋